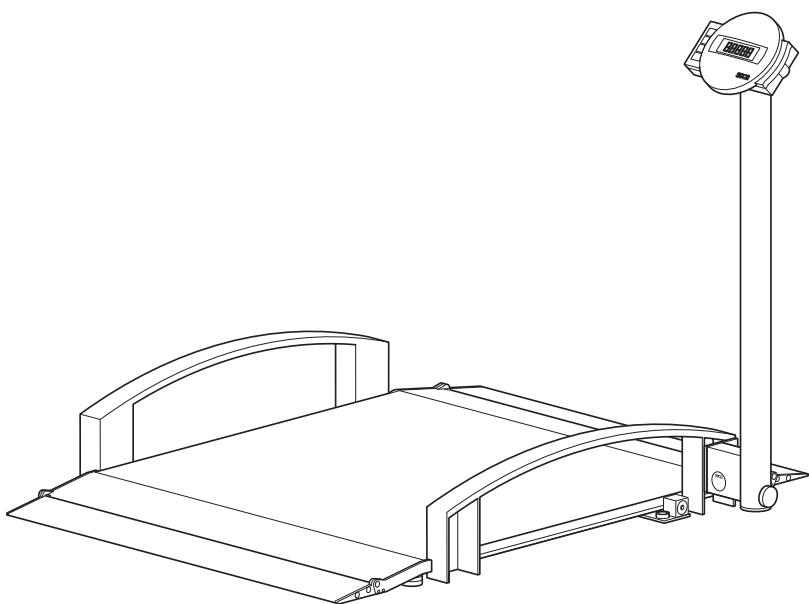


seca 665



seca[®]
Precision for health

目次

1. 装置についての説明	4
1.1 用途	4
1.2 機能の説明	4
1.3 使用者に求められる資格	4
組み立て	4
操作	5
2. 安全に関する情報	5
2.1 この取扱説明書での安全 上の注意	5
2.2 基本的な安全上の注意	6
装置の取り扱い	6
感電の回避	7
感染の回避	8
負傷の回避	8
装置破損の回避	8
測定結果の取扱い	9
梱包材の取扱い	10
2.3 乾電池と充電電池の扱い	10
3. 概観	12
3.1 操作エレメント	12
3.2 ディスプレイ内の表示マーク	13
3.3 装置および型番プレートに 記されているマーク	14
3.4 梱包に記されているマーク	15
3.5 メニュー構造	16
4. ご使用になる前に	17
4.1 納品内容	17
4.2 装置を組み立てる	18
ポールの取り付け	18
ディスプレイケーブルを 接続する	19
4.3 電源を接続する	20
バッテリーパックを接続 する	20
AC アダプターを接続しバッ テリーパックを充電する	20
5. 操作	22
5.1 体重計の運転を準備する	22
体重計を動かす	22
体重計を調整する	23
表示部を回す	24
5.2 体重を測定する	24
体重計をオンにする	24
患者の体重を量る	25
風袋重量を差し引く (TARE)	25
測定結果を表示し続ける (HOLD)	26
ボディマス指数を測定・評価 する (BMI)	26
BMI を自動的に算定し印刷 する	28
測定結果をワイヤレス受信裝 置に転送する	28
自動体重測定領域切替	29
体重計をオフにする	29
5.3 その他の機能 (メニュー)	30
メニュー内にナビゲーシ ョンする	30
保存した値を自動的に削除 する (AClr)	31
風袋重量を保存したままに する (Pt)	31
自動保持機能をオンにする (Ahold)	33
シグナル音をオンにする (BEEP)	33
抑制を設定する (Fil)	34
工場出荷時の設定に戻す (RESET)	34
6. ワイヤレスネットワーク	35
seca 360° wireless	35
6.1 はじめに	35
seca ワイヤレスグループ	35
チャンネル	36
装置の認識	36
6.2 ワイヤレスグループ内の体重 計の使用 (メニュー)	37
ワイヤレスモジュールをオ ンにする (SYS)	37
ワイヤレスグループを設定 する (Lrn (記憶させる))	37
自動送信をオンにする (ASend (自動送信))	39

印刷オプション	
(APrt (自動印刷)) を選ぶ ..	40
時刻を設定する	
(Time (時刻))	40
7.衛生管理	41
7.1 清掃	42
7.2 消毒	42
7.3 滅菌	42
8.機能点検	42
9.こんなときはどうする?	43
10.メンテナンス / 再検定	46
10.1 メンテナンスおよび再検定 についての情報	46
10.2 度量衡メーター内容を検証 する	46
11.技術データ	47
11.1 一般的な技術データ	47
11.2 重量測定データ	48
12.オプション・アクセサリー	49
13.交換部品	49
14.廃棄処分について	49
14.1 装置	49
14.2 乾電池と充電電池	49
15.保証	50

1. 装置についての説明

1.1 用途

多機能電子体重計 **seca 665** は、各国の規定に準拠した上で主に病院、クリニック、老人福祉介護施設などで使用されています。

この体重計は、従来の体重測定、全般的栄養状態の把握に対して使用でき、また担当の医師が診断を下し、あるいは治療法を決定するのを支援します。

但し正確な診断を下すには、体重測定以外にも担当医師が適切な検査を行い、その結果を考慮する必要があります。

1.2 機能の説明

多機能電子体重計 **seca 665** は、4つのロードセルで重量を把握します。

seca 665 は、通常の体重測定と共に、ボディマス指数（Body-Mass-Index (BMI)）を計算する機能を備えています。キーボードで身長を入力すると、その体重値のボディマス指数（Body-Mass-Index (BMI)）が自動的に算定されます。**seca 360° wireless** システムの身長測定装置は、身長をワイヤレスで **seca 665** へ転送します。

測定結果は、ワイヤレスネットワーク **seca 360° wireless** を通じて seca ワイヤレスプリンター、もしくは seca USB ワイヤレスアダプターと互換性のある seca パソコン・ソフトウェアを備えたパソコンにワイヤレスで転送されます。

seca 665 は、キャスターで移動させることができます。

この体重計は、4ページ「用途」に挙げられている目的のためだけに使用してください。

1.3 使用者に求められる資格

組み立て 製品の組み立てに関しては、必ず十分な知識を有する人物（例えば専門業者、病院の技術者または seca サービス）が組み立てるようにしてください。

操作 この製品の操作は、必ず医療関係の専門家が行ってください。

2. 安全に関する情報

2.1 この取扱説明書での安全上の注意

⚠ 危険！

危険な状況が甚大であることを表示しています。この注意を無視した場合、重大で取り返しのつかない事故あるいは死傷事故につながります。

⚠ 警告！

危険な状況が甚大であることを表示しています。この注意を無視した場合、重大で取り返しのつかない事故あるいは死傷事故につながることがあります。

⚠ 注意！

危険な状況を示します。この注意を無視した場合、軽度から中程度の負傷事故につながる可能性があります。

気をつけて！

製品の操作を誤っている可能性があることを表示します。この注意事項を無視した場合、製品の損傷や誤った測定結果につながる可能性があります。

注意事項

この製品の使用に関する追加的な情報を含んでいます。

2.2 基本的な安全上の注意

装置の取り扱い

- ▶ 取扱説明書に記載されている注意事項を守ってください。
- ▶ 取扱説明書は大切に保管してください。本取扱説明書は製品の一部であり、常時参照できる状態にしておいてください。



危険！ 爆発の危険

この製品は、以下のガスが充満する環境に設置しないでください。

- ▶ 酸素
- ▶ 可燃性の麻醉ガス
- ▶ その他の発火するおそれのある物質 / 混合気



注意！ 患者の身に危険、製品の破損

- ▶ 電子医療機器と接続する追加製品は、適切な IEC または ISO 規格（例えば電算処理機器には IEC 60950）に準拠していることが証明されているものでなければなりません。その他、設定はすべて、医療システム用の規格要件を満たしている必要があります（IEC 60601-1-1 または IEC 60601-1 第3版第16章を参照）。電子医療機器に追加製品を接続する方は、システム設定者であり、システムがそのシステムに対する規格要件に一致していることに責任を負います。ただし各地域の法律は、上に挙げた規格要件よりも優先されることを指摘しておきます。ご不明の点がありましたら、現地の専門業者が技術サービスにご連絡ください。
- ▶ 本文書の該当する節に説明されているように、定期的にメンテナンスと再検定をご依頼ください。
- ▶ 本文書の該当する節に説明されているように、定期的にメンテナンスをご依頼ください。
- ▶ 製品における技術的な変更は許可されていません。本製品には、使用者様がご自分でメンテナンスを行う部品は含まれていません。メンテナンスおよび修理は、必ず正規の seca サービス担当者にご依頼ください。

最寄のサービス担当者は、www.seca.com でお探しください。あるいは info@seca.co.jp にメールしてください。

- ▶ 必ず seca の純正部品と、同じく純正の交換部品をご使用ください。その他のものを使用した場合には保証が適用されません。



注意！

患者の身に危険、誤作動

- ▶ 誤測定や無線転送時の障害を避けるために、高周波機器といった電子医療機器とは、最低でも約 1 メートルの距離をあけてください。
- ▶ 誤測定や無線転送時の障害を避けるために、携帯電話といった HF（短波）機器とは、最低でも 1 メートルの距離をあけてください。
- ▶ HF 機器の実際の送信能力によって、最低でも 1 m を超える距離が必要な場合があります。詳細は www.seca.com をご覧ください。

感電の回避



警告！

感電

- ▶ AC アダプターを使用する製品は、電源コンセントへ容易にアクセスできるように、かつ電源の遮断をすぐに実行できるように設置してください。
- ▶ お住まいの地域の電源供給が AC アダプターの記載と一致していることを確認してください。
- ▶ AC アダプターに濡れた手で触ることは、かたく禁じます。
- ▶ 延長コードやマルチコンセントタップは使用しないでください。
- ▶ ケーブルが押しつぶされたり、あるいは鋭い角で損傷しないよう注意してください。
- ▶ ケーブルが、熱を持った物体に接触しないよう注意してください。
- ▶ この製品は、海拔 3000 m よりも高いところで使用しないでください。

感染の回避



警告！ 感染の危険

- ▶ この製品は、本文書の該当する節で説明したように、定期的に衛生管理を行ってください。
- ▶ 患者が感染性の疾患にかかっていないことを確認してください。
- ▶ この製品に接触する可能性のある、患者の身体部分に口のあいた傷や伝染性の皮膚の変容がないことを確認してください。

負傷の回避



警告！ 転落による負傷

- ▶ 装置がしっかりと平らに設置されていることを確認してください。
- ▶ 接続ケーブル（ある場合）は、使用者と患者が足を引っかけてつまずかないように敷設します。
- ▶ 患者が計量台の角に直接乗り降りしないことを確認してください。
- ▶ 患者がゆっくりと確実に計量台に乗り降りするようにしてください。
- ▶ 測定している間、車椅子、ストレッチャー、等にストップバーがかかっていることを確認してください。



警告！ 足を滑らせる危険

- ▶ 患者が計量台に乗る前は、計量台が濡れていないことを確認してください。
- ▶ 患者が計量台に乗る前、患者の足が濡れていないことを確認してください。
- ▶ 患者がゆっくりと確実に計量台に乗り降りするようにしてください。

装置破損の回避

気をつけて！

装置の破損

- ▶ 液体が装置の内部に入らないように注意してください。液体が入ると電子機器が壊れることがあります。
- ▶ ACアダプターをコンセントから抜く前に、装置の電源をオフにしてください。

- ▶ 装置を長期間にわたって使用しないときは、電源装置をコンセントから抜いておきます。そうしないと装置には電流が流れ続けます。
- ▶ 装置を落とさないでください。
- ▶ この装置に衝撃や振動を与えないでください。
- ▶ この文書の該当する節で説明したように、定期的に機能点検を実施してください。正常に機能しない、または損傷している状態でこの装置を使用することは許されません。
- ▶ この装置は直射日光にさらさないでください。また熱源のすぐ近くに置かないでください。温度が高すぎると電子機器が壊れることがあります。
- ▶ 急な温度変化も避けてください。この装置を移送し、環境の気温変化が 20 °C を上回る場合には、スイッチを入れるまで最低 2 時間は装置を新しい環境になじませてください。そうしないと結露が生じ、それが電子機器を壊すことがあります。
- ▶ 必ずアクリルガラスおよびその他のデリケートな表面に適した、塩素およびアルコールを含まない消毒液を使用してください（作用物質：第四級アンモニウム化合物など）。
- ▶ クレンザーや刺激性のクリーナーは使用しないでください。
- ▶ 有機溶剤（アルコールやベンジンなど）は使用しないでください。

測定結果の取扱い



警告！

患者の身に危険

この製品は、診断用機器ではありません。この製品は、担当の医師が診断を下すのを支援します。

- ▶ 正確な診断を下し、治療開始するには、この製品を使用する他に、担当の医師は適切な検査を指示し、その結果に配慮する必要があります。
- ▶ 診断とそこから導き出される治療の責任は、担当する医師が負います。

気をつけて！ 整合性を欠いた測定結果

- ▶ この製品による測定値を保存、再利用（例えば、seca PC ソフトウェアや病院内情報システムでの利用）する前に、その測定値が妥当なものであることを確認してください。
- ▶ 測定値が seca PC ソフトウェアへ、または病院内情報システムへ転送される場合、それを再利用する前に、その測定値が妥当なもので、本当に対象としている患者のものであることを確認してください。

梱包材の取扱い



警告！ 窒息の危険

プラスチックフィルム製の梱包材（ビニール袋）には、窒息を引き起こす危険があります。

- ▶ 梱包材は、子供の手が届かないように保管してください。
- ▶ 本来の梱包材がなくなっている場合、窒息の危険を低下させるために、使用するビニール袋には必ず安全のための穴をあけてください。なるべく再利用できる材料をご使用ください。

注意事項

製品納品時に使用されていた梱包剤は、後で使用できるように保管しておいてください（例えば、メンテナンスのための返送のため）。

2.3 乾電池と充電電池の扱い



警告！ 不適切な扱いによる人体の被害

乾電池や充電電池は有害な物質を含んでおり、不適切な扱いをすると激しい勢いで噴出することがあります。

- ▶ 乾電池の再充電を試みることはお止めください。
- ▶ 乾電池 / 充電電池を加熱してはいけません。
- ▶ 乾電池 / 充電電池を燃焼させてはいけません。

- ▶ 酸が漏れ出した場合には、皮膚、目、粘膜に触れないようにしてください。触れてしまった身体箇所があれば、十分に清浄な水ですすぎ流し、すぐに医師の診察を受けてください。

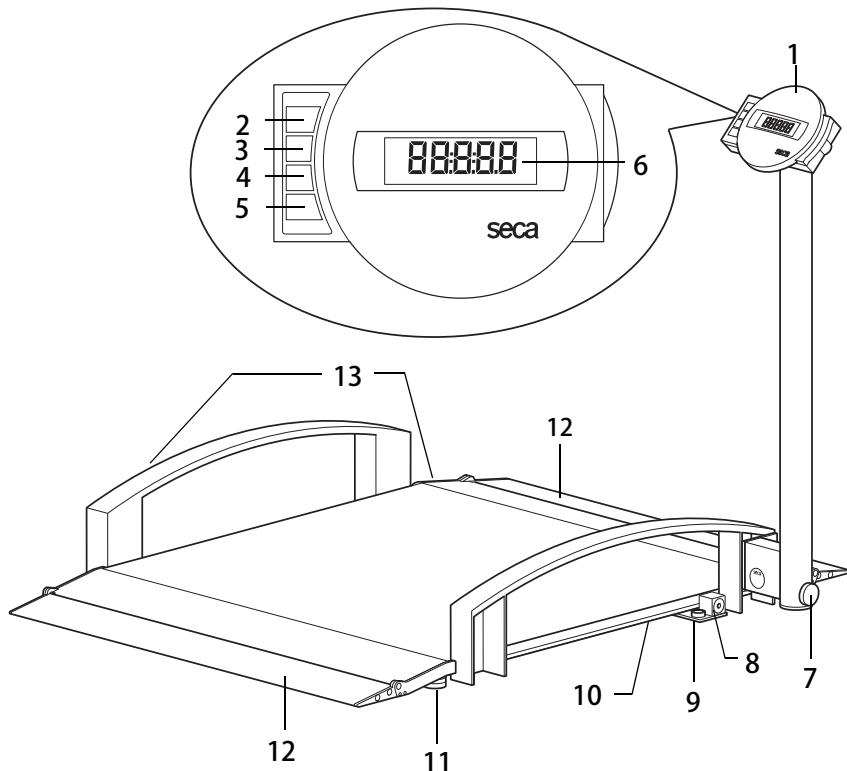
気をつけて！

不適切な扱いによる製品の破損および誤作動

- ▶ 必ず、この文書に記載されている乾電池タイプ / 充電電池タイプをご使用ください。
- ▶ すべての乾電池 / 充電電池は必ず同時に交換してください。
- ▶ 乾電池 / 充電電池をショートさせてはいけません。
- ▶ 製品を長い間ご使用にならない場合には、乾電池 / 充電電池を取り外してください。そのようにすれば酸が製品に漏れ出すということはありません。
- ▶ 酸が製品の中に流れ込んだ場合、それ以降は製品を使わないでください。製品を正規の seca サービス担当者に検査を依頼し、必要な場合は修理を依頼してください。

3. 概観

3.1 操作エレメント



No.	操作エレメント	機能
1	表示部	セントラル操作 / 表示エレメント
2		体重計のオン / オフ
3		矢印ボタン • 体重測定中 - 短く押す 保持機能をオンにする - 長く押す 風袋機能をオンにする • メニュー内で - サブメニューを選択する、メニュー項目を選択する - 値を増やす

No.	操作エレメント	機能
4		矢印ボタン • 体重測定中 - 短く押す BMI 機能をオンにする - 長く押す メニューを呼び出す • メニュー内で - サブメニューを選択する、メニュー項目を選択する - 値を減らす
5		エンター/ボタン • 体重測定中 (ワイヤレスネットワークが設定されているとき) - 短く押す 測定結果を受信可能な装置 (USB ワイヤレスアダプター付パソコン) に転送する - 長く押す 測定結果を印刷する (ワイヤレスプリンター) • メニュー内で - 選択したメニュー項目を確定する - 設定した値を保存する
6	ディスプレイ	測定結果および装置の設定のための表示エレメント
7	固定ねじ	ポールを上に揚げた状態で、また下に降ろした状態で固定
8	AC アダプター接続部	同梱の AC アダプターの接続に使用
9	水準器	この装置が水平に設置されているかを表示
10	電池収納スペース	バッテリーパックを収納
11	脚部調整ねじ	4 個、正確な位置調整のために使用
12	スロープ	• 跳ね上げ可能 • 車椅子が体重計に難なく上がるようする
13	移動用キャスター	このキャスターを使い体重計を移動させる

3.2 ディスプレイ内の表示マーク



	表示マーク	意味
A		AC アダプターによる運転
B		検定不能機能がオンになっている

	表示マーク	意味
C		現在使用中のメモリ
D		現在使用中の体重測定範囲 (47 ページ「技術データ」を参照)

3.3 装置および型番プレートに記されているマーク

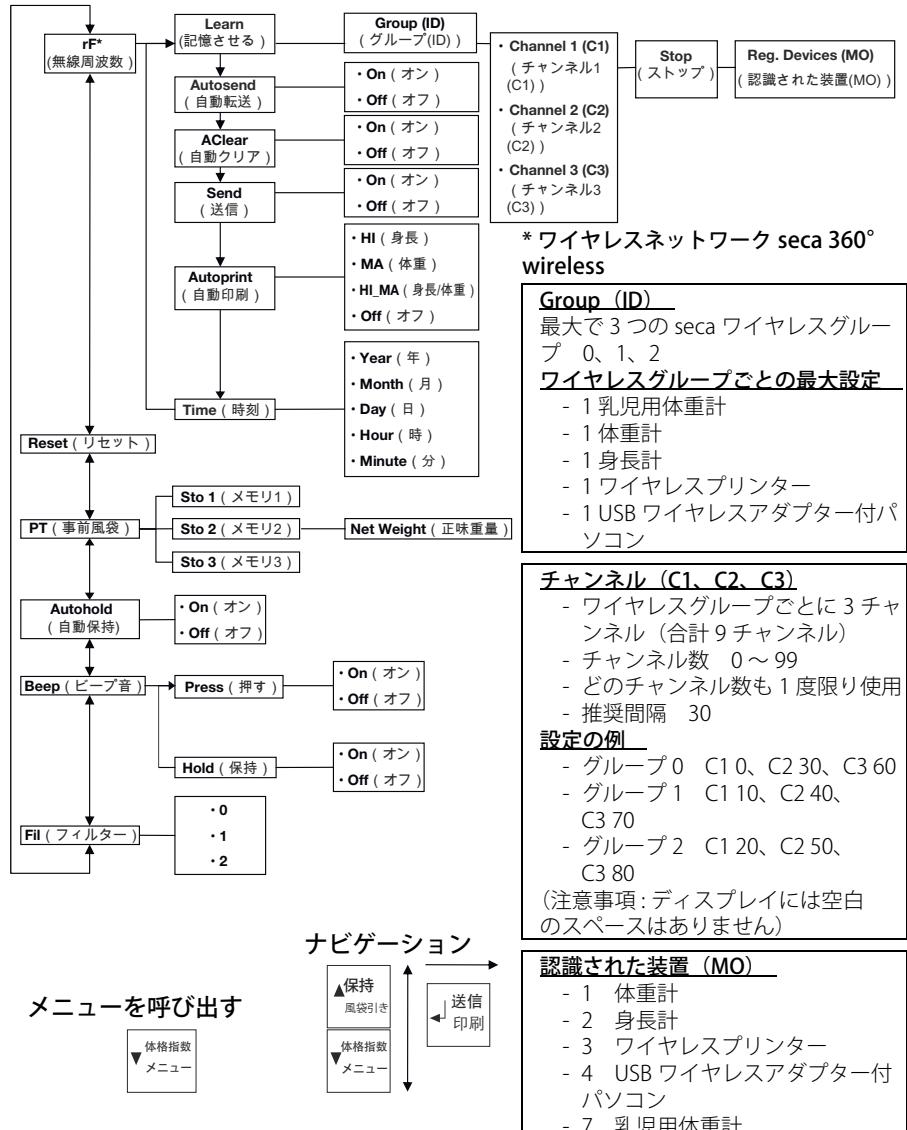
テキスト / 表示マーク	意味
Mod	モデル番号
S/N	シリアル番号
ProdID	製品識別番号
	取扱説明書に留意
	電子医療機器（タイプ B）（ヨーロッパ内）
	保護絶縁された装置、保護クラス II（ヨーロッパ内）
e	体重計の評価や検定に使用される質量値
d	二つの連続する表示値の差異を示す質量値
	有効な測定領域
	指令 2014/31/EU に準じて検定 クラス III（ヨーロッパ内に限定） 精度等級 3 級（日本国内に限定）
	特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則に適合。 認証番号 : 202WW09118012
	電源接続ポートの型番プレート <ul style="list-style-type: none"> • x-y V 必要な供給電圧 • max xxx mA 最大電力消費 • -- - + 電源プラグの極性に注意 • --- 装置は直流電流のみを使用
	装置を家庭ゴミとして廃棄しないこと

3.4 梱包に記されているマーク

	水から保護すること
	必ず製品の箱を矢印の向きが上になるようにする 直立状態で輸送・保管を行うこと
	取扱注意 投げたり落としたりしないこと
	輸送・保管時の最小 / 最大許可温度
	輸送・保管時の最小 / 最大許可湿度
	ここで梱包材を開きます
	梱包材はリサイクルプログラムで廃棄可能

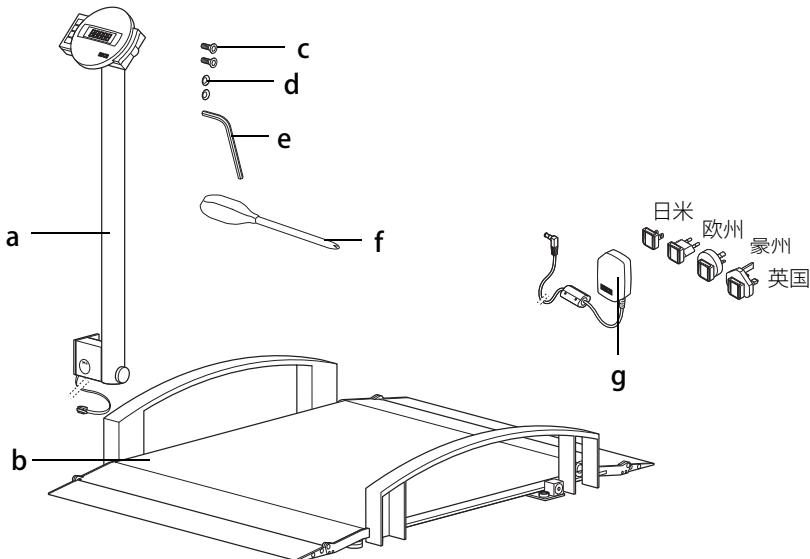
3.5 メニュー構造

この装置のメニューでは、その他の機能もご使用いただけます。このようにして、この装置をご利用の使用条件に最もよく合うように設定できます（詳しくは30ページ以降で）。



4. ご使用になる前に …

4.1 納品内容



No.	構成部品	個数
a	表示部とモニターケーブルの付いたポール	1
b	計量台	1
c	六角穴付きねじ、フラットヘッド M8×16	2
d	扇ワッシャー Ø 8.4 mm	2
e	六角穴スパナ	1
f	ドライバー	1
g	アダプターの付いた AC アダプター（モデルごとに異なる ユーロプラグ付 AC アダプター）	1
-	バッテリーパック、画像なし	1
-	取扱説明書、画像なし	1

4.2 装置を組み立てる

ポールの取り付け

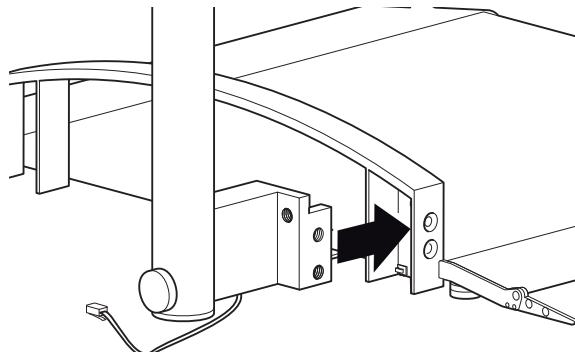
この組み立てステップには以下の接続エレメントが必要です。



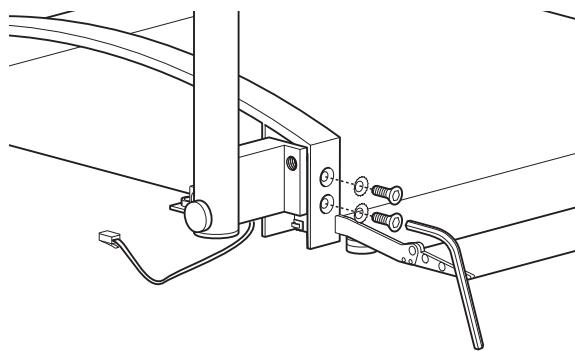
2 x 六角穴付きねじ



2 x 扇ワッシャー



1. モニターケーブルを、手すりの組み立ての際に挟まれることがないように敷設してください。
2. 上の図に描かれているようにポールを手すりに設置してください。



3. 扇ワッシャーをねじの上にセットします。
4. ねじを手すりとポールの穴に入れます。
5. そのねじを固く引き締めます。

ディスプレイケーブルを接続する

気をつけて！

誤った組み立てによる誤作動

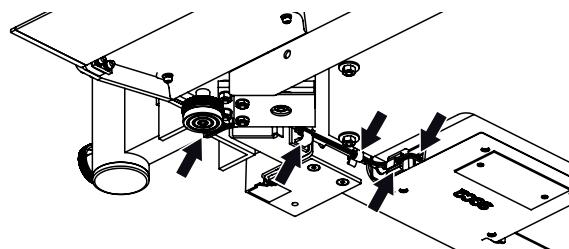
例えば大きくなっていたり、プラグが折れ曲がっていたりしてケーブルに張力がかかっていると誤った表示やディスプレイの故障が発生することがあります。

- ▶ すべてのケーブルは、強くなつたわむことがないように、またプラグが折れ曲がらないように設置してください。
- ▶ すべてのケーブルを適切な留め金に配置し、引っ張られることがないように注意してください。

1. 計量台の裏側にアクセスできるように体重計を持ち上げます。

注意事項

この組み立て作業のために体重計を手すりで支えても構いません。

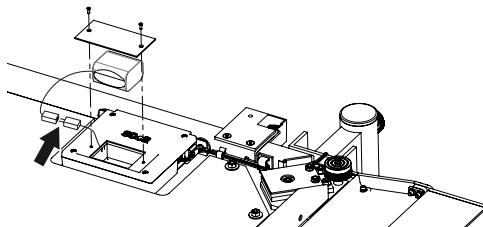


2. 図に描かれているように、モニターケーブルを計量台に沿って電子装置ボックスまで敷設します。
3. モニターケーブルを電子装置ボックスに接続してください。
4. 工場出荷時にモニターケーブルに固定されたケーブルクリップを体重計のフレームの穴に、しっかりととかみ合うまで押し込みます。
5. 体重計のフレームについていたそのケーブルクリップを、しっかりととかみ合うまで押し込みます。
6. 体重計を降ろします。

4.3 電源を接続する

体重計への電源供給は、バッテリーパックまたはACアダプター（両方とも納品内容に含まれています）によって行われます。モデルによって異なりますが、納品内容にはプラグアダプター付ACアダプターまたは固定ユーロプラグ付ACアダプターが含まれています。

バッテリーパックを接続する



1. 電池収納スペースのねじを緩めます。
2. 電池収納スペースのカバーを外します。
3. バッテリーパックを電池収納スペースから外に出します。
4. 接続ケーブルを電池収納スペースから引き出します。
5. 接続ケーブルをバッテリーパックに接続する
6. そのバッテリーパックを電池収納スペースにセットします。
7. 電池収納スペースに電池収納スペースカバーをねじ固定します。

ACアダプターを接続しバッテリーパックを充電する

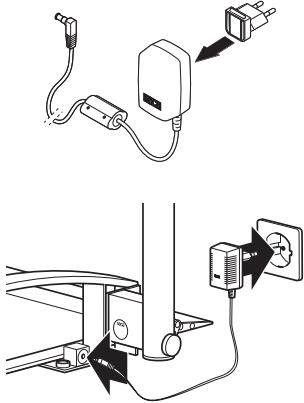


警告！

正規品ではないACアダプターによる人の負傷および装置の破損

市販のACアダプターは、本製品に指定されている電圧より高い電圧を供給することがあります。体重計がオーバーヒートし、出火し、溶解、ショートすることがあります。

▶ 制御された12ボルトの電圧を供給するsecaの正規ACアダプターのみをご利用ください。



1. 必要な場合、電力供給に必要な電気系統のプラグを AC アダプターに差し込んでください。
2. AC アダプターの電源プラグを体重計の接続ジャックに差し込みます。
3. その AC アダプターを電源コンセントに差し込んでください。
4. 初めて充電するときには体重計を 24 時間以上電源に繋ぎ続け、バッテリーパックを完全に充電します。

5. 操作



**注意！
人身傷害**

装置の使用前には必ず、42 ページ「機能点検」の説明に従って機能点検を行ってください。

5.1 体重計の運転を準備する

体重計を動かす



注意！

人体への被害、装置の破損

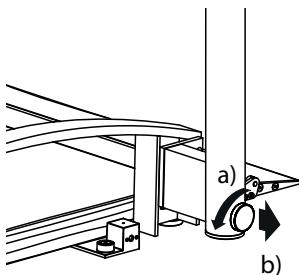
高い位置では体重計は不安定になります。

- ▶ 一時的に高い位置に置かれる場合、体重計を手すりを下にして支えてください。
- ▶ 体重計を継続的に高い位置に置く場合、体重計を適切なものを使って体重計の転倒を防止してください。

1. 体重計を電源供給から切り離します。

2. ポールを下へ折り畳む

- a) 固定ねじを緩める
- b) 固定ねじを引っ張る



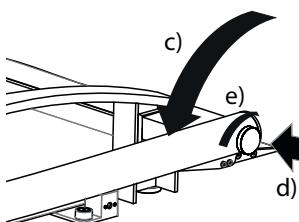
c) ポールの向きを変える

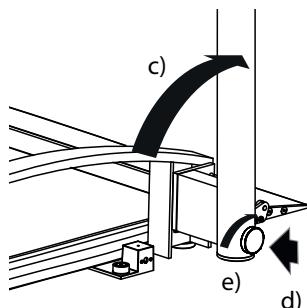
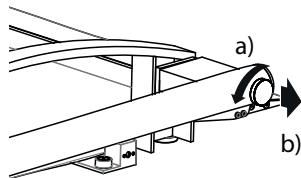
d) 固定ねじをかみ合わせる

e) 固定ねじを締める

3. 体重計を持ち上げます。

4. 体重計を任意の設置場所へ移動します。



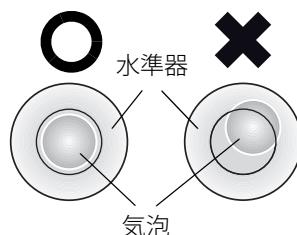
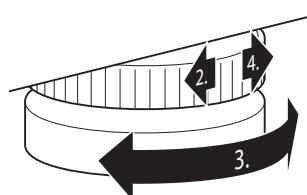


5. ポールを引き起します。
- a) 固定ねじを緩める
 - b) 固定ねじを引っ張る

- c) ポールの向きを変える
- d) 固定ねじをかみ合わせる
- e) 固定ねじを締める

6. 再び電源供給を構築します。

体重計を調整する



気をつけて！

他の部分に重さがかかることによる誤測定

体重計がケースとともに、例えばタオルの上に載っていると、体重を適切に測定することができません。

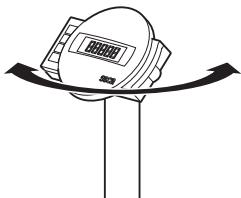
► 体重計の脚部調整ねじだけが床と接触するように体重計を設置してください。

1. 体重計は堅い平面上に設置してください。
2. 調節ねじを緩めてください。
3. 脚部調整ネジを回して、装置の位置を調整します。

水準器の気泡が正確に円の中央に来るよう調整してください。

4. 調整ねじを矢印の方向に回して締めます。
この脚部調整ねじは、誤った位置の変更に対して保護されています。

表示部を回す



装置の表示部は向きを変えることができます。このようにしてどんな使用状況にも最適に調整できます。

- ▶ 表示部を、操作しやすく、また読み取りやすいように向きを変えてください。

5.2 体重を測定する



注意！

患者が転倒して負傷する危険があります。

体が思うように動かない人は、体重計への乗り降りの際に転倒することがあります。

- ▶ 体が思うように動かない人の場合、体重計への乗り降りの際にはその体を支えてください。
- ▶ 助けがないと立っていられない人は、適切な車椅子、ストレッチャー、等を使って計量台に上がるようにしてください。
- ▶ 測定している間、車椅子、ストレッチャー、等にストップバーがかかっていることを確認してください。

気をつけて！

不適切な重さのかけ方による誤測定

体重計の片側だけに、または角だけに重さがかかると、体重は適切に量れません。

- ▶ 患者には、体重計の中央に立ってもらってください。
- ▶ 車椅子、ストレッチャー、等は、体重計の中央に載せてください。

体重計をオンにする



- ▶ スタートボタンを押します。
ディスプレイのすべてのエレメントが短い間表示され、その後ディスプレイに **SECA** と表示されます。
ディスプレイに **0.0** が表示されたら、体重計は作動準備完了です。

患者の体重を量る

635 kg

1. 体重計に何も載せられていないことを確認してください。
2. 患者に体重計に乗ってもらいます。
3. 患者に静かに立っていてもらいます。
4. 測定結果を読み取ります。

注意事項

体が思うように動かない患者の体重を量る場合は、25 ページ「風袋重量を差し引く (TARE)」に留意してください。

体が動かない患者の体重を量る場合は、31 ページ「風袋重量を保存したままにする (Pt)」に留意してください。

風袋重量を差し引く (TARE)

風袋引き (TARE) 機能を使うと、風袋重量（例えば、体重計の床に敷くタオルや敷物）が体重測定結果に影響を与えるのを回避することができます。

この機能は、体重測定中ずっと立っていられない、体が思うように動かない患者を対象にしています。まずは車椅子の重さを量り、その重量を風袋として設定することができます。次に患者を座らせたままその重さを量ります。

気をつけて！

他の部分に重さがかかることによる誤測定

但し、大きなタオルなどの風袋重量が、体重計を設置した床面に触れていると体重を正確に測定することができません。

▶ 風袋重量が体重計の測定用の床面にだけかかっていることを確認してください。

1. 体重計をオンにします。
2. 風袋重量を体重計の上に載せます。
3. 矢印ボタン（保持 / 風袋引き）を「NET」というメッセージが表示されるまで押し続けます。
4. その表示が点滅しなくなり、代わりに **0.0** が表示されるまで待ちます。
5. 患者の体重を「患者の体重を量る」で説明したように量ります。
6. 測定結果を読み取ります。
風袋重量が自動的に差し引かれています。
7. 風袋引き (TARE) 機能をオフにするには矢印ボタン（保持 / 風袋引き）を「NET」というメッセージが表示されなくなるまで押すか、体重計のスイッチをオフにします。

**▲保持
風袋引き**

635 kg

**▲保持
風袋引き**

測定結果を表示し続ける (HOLD)

注意事項

最大表示可能体重は、既に載せられている物の重さだけ差し引かれます。

保持 (HOLD) 機能をオンにしていると、体重値は体重計に重さがかかっていないまでもずっと表示され続けます。ですからまだ体重値を記録していくなくても患者のケアすることができます。

1. 体重計に何も載せられていないことを確認してください。
2. 体重計をオンにします。
3. 患者の体重を「患者の体重を量る」で説明したように量ります。
4. 矢印ボタン（保持 / 風袋引き）を短く押します。



表示は、測定されている体重が安定するまで点滅します。安定すると体重値が表示されたままになります。△表示マーク（検定不能機能）および「HOLD」というメッセージが表示されます。

5. 保持 (HOLD) 機能をオフにするには矢印ボタン（保持 / 風袋引き）を短く押します。
△という表示マークおよび「HOLD」というメッセージは表示されなくなります。

注意事項

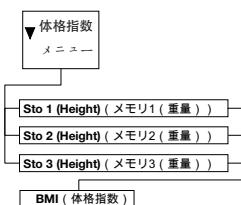
自動保持機能がオンになっていると体重値は自動的に表示され、体重計がひとりでにオフになるか、またはオフにするまでそのままの状態が保たれます、(33 ページ「自動保持機能をオンにする (Ahold)」を参照)。

ボディマス指数を測定・評価する (BMI)

ボディマス指数は、身長と体重の相関関係を表わし、それにより Broca に基づく理想体重などよりも正確なデータを作成することができます。これは健康的に最適とみなされる許容範囲を提示します。

この装置には、身長に関して 3 つのメモリが用意されています。そこには特定の患者の身長を入力し記録できます。あるいは、複数の開始値を記録して、ある患者の実際の身長を迅速に設定できます。

1. 体重計に何も載せられていないことを確認してください。
2. 体重計をオンにします。





3. 矢印ボタン（体格指數 / メニュー）を短く押します。
「BMI」というメッセージが表示されます。
直前に使用されたメモリが表示されます（ここでは、メモリ 2）。
 4. 表示されたメモリを使うこともできますし、あるいは矢印ボタンで別のメモリを選択することができます。
 5. エンターボタン（送信 / 印刷）でその設定を確定します。
ディスプレイに矢印が点滅します。
選択されたメモリに最後に保存されていた身長が表示されます。
 6. 表示された身長を受け入れるか、あるいは矢印ボタンを使って他の身長を設定します。
 7. エンターボタン（送信 / 印刷）でその設定を確定します。
入力された身長が保存され、次の BMI 計算に再利用できます。
- 注意事項**
身長を BMI の再計算に再び呼び出せるようにするために、そのメモリをメモしておいてください。
8. 患者の体重を「患者の体重を量る」で説明したように量ります。
患者の BMI は自動的に算定され表示されます。
 9. BMI を読み取り、それをさらに以下に表示されるカテゴリーと比較します。
 10. BMI 機能をオフにするにはエンターボタン（送信 / 印刷）を短く押します。

BMI	評価
18.5 未満	患者の体重は軽すぎます。食欲不振・拒食症の傾向があるのかもしれません。健康と体力を増進するには、体重を増やすことが推奨されます。その疑いがある場合には専門医に相談してください。
18.5 ~ 24.9	患者は標準的な体重です。

BMI	評価
25～30（前肥満）	患者は、軽度から中度の肥満です。既に罹っている病気（例えば糖尿病、高血圧、痛風、脂質代謝異常）がある場合には、体重を減らしたほうが良いでしょう。
30超	早急な減量が必要です。代謝、循環、骨格に負担がかかっています。継続的なダイエット、多くの運動、行動トレーニングが推奨されます。その疑いがある場合には専門医に相談してください。

BMI を自動的に算定し印刷する

この体重計を **seca 360° wireless** システムのワイヤレスプリンターと身長測定尺と一緒に使用すると、BMI を自動的に計算し、印刷することができます。

注意事項

これらの装置がワイヤレスグループとともに登録されていることが、この機能の前提条件です（35 ページ「ワイヤレスネットワーク **seca 360° wireless**」を参照）。

1. 身長測定を実行します。
2. 身長計のエンターボタン（送信 / 印刷）を短く押します。
測定値がワイヤレスプリンターに転送されますが、印刷されません。
3. 体重測定を実行します。
4. 体重計のエンターボタン（送信 / 印刷）を長く押します。
測定値がワイヤレスプリンターに転送されます。
BMI が計算されます。
身長、体重、BMI が印刷されます。

測定結果をワイヤレス受信装置に転送する

体重計が **seca 360° wireless** ワイヤレスネットワークに統合されていると、ボタンを押すと測定結果を受信可能な装置（例えばワイヤレスプリンター、USB ワイヤレスアダプター付パソコン）に転送することができます。

- ▶ エンターボタン（送信 / 印刷）を押します。
 - ボタンを短く押す 測定結果をすべての受信可能な装置に送る
 - ボタンを長く押す 測定結果をワイヤレスプリンターで印刷する



自動体重測定領域切替

この体重計では 2 つの測定領域を使うことができます。測定領域 1 (→II←) では、測定可能重量は限られますがより細かい目盛で測定可能です。測定領域 2 (→I←) では、体重計の負担能力を最大限まで利用することができます。

体重計のスイッチを入れると測定領域 1 がオンになります。特定の体重値を超えると体重計は自動的に測定領域 2 に切り替わります。

再度、測定領域 1 に戻すには、次の手順で行ってください。

- ▶ 体重計からすべてのものを降ろします。
再び測定領域 1 がオンになります。

体重計をオフにする



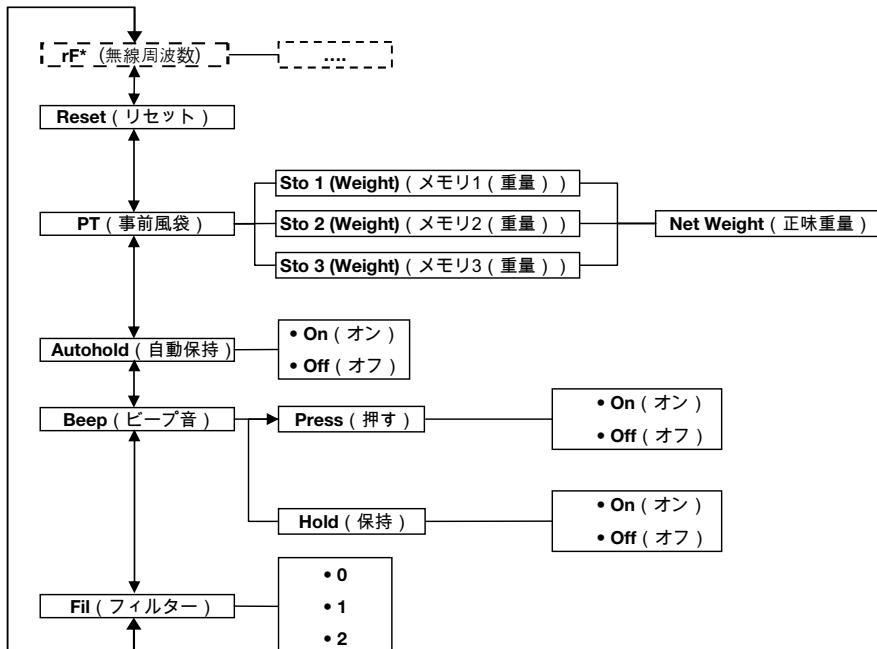
- ▶ スタートボタンを押します。

注意事項

充電池で運用されているときは、体重計に何も載せられていないと、しばらくして体重計は自動的にオフになります。

5.3 その他の機能（メニュー）

この体重計のメニューでは、その他の機能もご使用いただけます。そのようにしてこの体重計をお客様の使用条件に最もよく合うように設定することができます。



*メニュー項目「rF (無線周波数)」の説明は、37ページ「ワイヤレスグループ内の体重計の使用（メニュー）」をご覧ください。

メニュー内をナビゲーションする



AHOLD



FIL

1. 体重計をオンにします。
2. 矢印ボタン（**体格指數 / メニュー**）をメニューが表示されるまで押し続けます。
最後に選択したメニュー項目がディスプレイに表示されます（ここでは自動保持「Ahold」）。
3. 矢印ボタンを、ご希望のメニュー項目がディスプレイに表示されるまで何度も押します（ここでは抑制「Fil」）。



FILE 0



FILE 2



FILE 2

4. エンターボタン（送信 / 印刷）で選択を確定します。
メニュー項目もしくはサブメニューに関する現在の設定が表示されます（ここでは段階「0」）。
5. 設定を変更し、または他のサブメニューを呼び出すには、矢印ボタンを、ご希望の設定（ここでは段階「2」）が表示されるまで何度も押してください。
6. エンターボタン（送信 / 印刷）でその設定を確定します。
メニューは自動的に終了します。
7. 他の設定を行うには、メニューを新たに呼び出し、既に説明したやり方で設定を行います。

注意事項

約 24 秒間ボタンが押されないままだとメニューは自動的に終了します。

保存した値を自動的に削除する (AClr)

現在の測定結果が装置のメモリに残り、誤った BMI 計算が行われるのを回避するには、測定結果が測定後 5 分後に自動的に削除されるように設定することができます。

注意事項

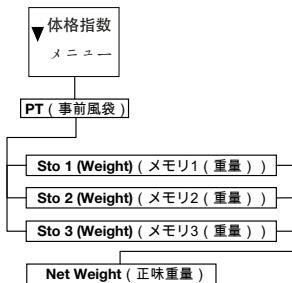
モデルによってはこの機能が工場出荷時にオフになっているものがあります。ご希望により、この機能はオフにすることができます。

1. メニューで項目「AClr」を選択します。
2. その選択を確定してください。
3. ご希望の設定を選択します。
 - On (オン)
 - Off (オフ)
4. その選択を確定してください。
メニューは自動的に終了します。

風袋重量を保存したままにする (Pt)

この機能は、動けない患者および、例えば車椅子に乗っていないと体重測定できない患者に適しています。体重測定手順とは別に車椅子の重量を保存することができます。体重測定手順の中で、車椅子の重量を呼び出し、測定結果から自動的に差し引くことができます。





この装置には、重量値に関して3つのメモリースペースが用意されています。複数の体重値を保存することができ、状況に応じて個別に呼び出せ、その値を測定結果から自動的に差し引きます。

1. メニューで項目「Pt」を選択します。
「Pt」というメッセージが表示されます。
2. 選択を確定してください。
最後に使用したメモリが表示されます。
3. 表示されたメモリを使うこともできますし、あるいは矢印ボタンで別のメモリを選択することができます。
4. その選択を確定してください。
ディスプレイに矢印が点滅します。
選択されたメモリに保存されていた風袋重量が表示されます。
5. その保存されている値を受け入れるか、あるいは矢印ボタンを使って変更します。

注意事項

値「0」を入力するとこの機能はオフになります。「Pt」というメッセージがディスプレイに表示されなくなります。

6. 選択を確定してください。
7. 患者に体重計に乗ってもらってください。
患者の体重が表示されます。
保存されている風袋重量が自動的に差し引かれます。
8. この機能をオフにするには、メニューでもう一度項目「Pt」を選択します。
9. 選択を確定してください。
機能はオフになっています。
メニューは自動的に終了します。

注意事項

体重計をオフにするとこの機能もオフになります。再びオンにしても「Pt」というメッセージはディスプレイに表示されません。

自動保持機能をオンにする (Ahold)

自動保持機能をオンにしていると、体重測定を行ったときの測定値は体重計に重さがかからなくなつてもずっと表示され続けます。こうすると体重測定を行つたびに保持機能を手動でオンにする必要がありません。

注意事項

モデルによってはこの機能が工場出荷時にオンになっているものがあります。ご希望により、この機能はオフにすることができます。

1. メニューで項目「Ahold」を選択します。
2. その選択を確定してください。
現在の設定が表示されます。
3. ご希望の設定を選択します。
 - On (オン)
 - Off (オフ)
4. 選択を確定してください。
メニューは自動的に終了します。

シグナル音をオンにする (BEEP)

ボタンを押したとき、体重値が安定したときにシグナル音を鳴らすことができます。後者は、保持 / 自動保持機能にとって重要です。

注意事項

「体重値が安定するとシグナル音が鳴る」機能は工場出荷時にオンになっています。ご希望により、この機能はオフにすることができます。

1. メニューで項目「bEEP」を選択します。
2. その選択を確定してください。
3. メニュー項目を一つ選択してください。
 - Press (押す) : ボタンを押すとシグナル音が鳴る
 - Hold (保持) : 体重値が安定するとシグナル音が鳴る
4. 選択を確定してください。
現在の設定が表示されます。
5. ご希望の設定を選択します。
 - On (オン)
 - Off (オフ)
6. 選択を確定してください。
メニューは自動的に終了します。
7. 二つ目の機能に対してもシグナル音をオンにしたい場合には、この手続きを繰り返してください。



抑制を設定する (Fil)

抑制 (Fil = フィルター) により、体重測定の際のノイズ (例えば、患者の動きによるそれ) を減らすことができます。



1. メニューで項目「Fil」を選択します。
2. その選択を確定してください。

現在の設定が表示されます。

3. 抑制レベルを選択してください。

- 0 抑制なし
- 1 中程度の抑制
- 2 高い抑制度

4. その選択を確定してください。

メニューは自動的に終了します。

工場出荷時の設定に戻す (RESET)

次に挙げる機能は、工場出荷時の設定に戻すことができます。

機能	工場設定
自動保持機能 (Ahold)	モデルごとに異なる
シグナル音 (Press)	Off (オフ)
シグナル音 (Hold)	On (オン)
抑制 (Fil)	0
自動クリア (Aclear)	モデルごとに異なる
事前風袋 (Pt)	0 kg
体格指数 (Body Mass Index (BMI)) のための身長	170 cm
ワイヤレスモジュール (SYS)	Off (オフ)
自動転送 (ASend)	Off (オフ)
自動印刷 (APrt)	Off (オフ)

注意事項

工場設定を復元する場合、ワイヤレスモジュールはオフになります。既存のワイヤレスグループに関する情報は維持されます。ワイヤレスグループを新たに設定する必要はありません。



1. メニューで項目「rESEt」を選択します。

2. その選択を確定してください。

メニューは自動的に終了します。

3. 体重計をオフにします。

工場出荷時の設定が復元され、体重計を再びオンにすればその設定を使用できます。

6. ワイヤレスネットワーク seca 360° WIRELESS

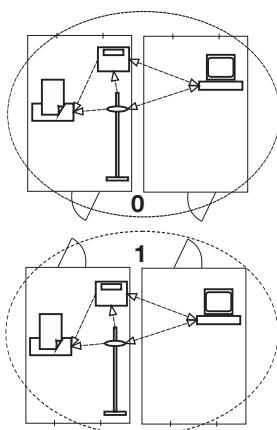
6.1 はじめに

この装置はワイヤレスモジュールを備えています。ワイヤレスモジュールがあれば、測定結果を評価、記録するためにそのデータをワイヤレスで送信することができます。データの送信は、以下に挙げる装置に対して可能です。

- seca ワイヤレスプリンター
- seca USB ワイヤレスアダプター付パソコン

seca ワイヤレスグループ

このワイヤレスネットワーク **seca 360° wireless** は、ワイヤレスグループとともに機能します。ワイヤレスグループとは、発信装置と受信装置のバーチャルグループです。同じタイプの複数の発信装置と受信装置を運用する場合、3つまでのワイヤレスグループ（0、1、2）を設定できます。



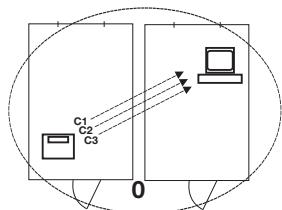
複数の検査室がそれぞれ同等の装置を備えて運用される場合、複数のワイヤレスグループを設定すれば、信頼できる方法で、かつ送信先を誤らざり測定値を送信することが可能になります。

発信装置と受信装置の最大間隔は約 10 m です。それぞれの場所の特定の条件、例えば壁の厚さや特性により、この到達距離は短くなることもあります。

ワイヤレスグループごとに、以下の装置のコンビネーションが可能になります。

- 1 乳児用体重計
- 1 体重計
- 1 身長計
- 1 seca ワイヤレスプリンター
- 1 seca USB ワイヤレスアダプター付パソコン

チャンネル



1 グループ内で、装置は 3 つのチャンネル (C1、C2、C3) で互いに交信します。それにより信頼でき、かつ支障のないデータ送信が可能になります。

この体重計でワイヤレスグループを設定すると、装置、最適なデータ送信を可能にする 3 つのチャンネルを提案します。提案されたチャンネル数を採用するようお奨めします。

もっと多くのワイヤレスグループを設定したいときは、チャンネル数 (0 から 99 まで) をマニュアルで選択することもできます。

データ送信を支障なく行うには、チャンネルはお互いに十分に離してください。チャンネル数は 30 以上の間隔をあけることを推奨します。どのチャンネル数も 1 つのチャンネルに対してのみ使用することができます。

設定例 クリニック内で 3 つのワイヤレスグループを設定する際のチャンネル数

- ・ ワイヤレスグループ 0 C1=_0、C2=30、C3=60
- ・ ワイヤレスグループ 1 C1=10、C2=40、C3=70
- ・ ワイヤレスグループ 2 C1=20、C2=50、C3=80

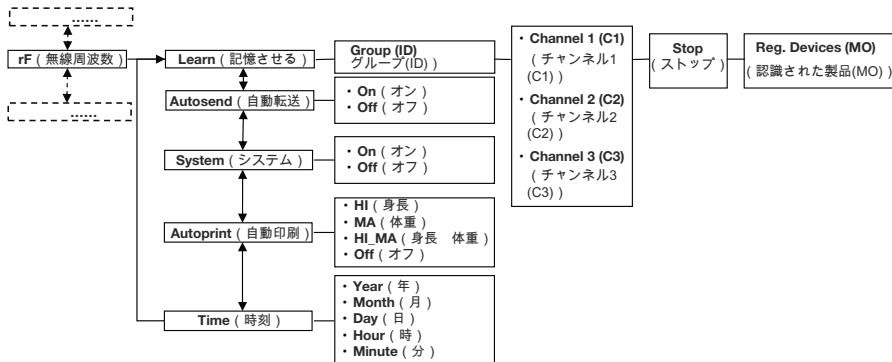
装置の認識

この体重計でワイヤレスグループを設定すると、グループはその他のアクティブな装置を **seca 360° wireless** システムから探しします。認識された装置は、この体重計のディスプレイにモジュール（例えば「MO 3」）として表示されます。その数値には以下の意味があります。

- ・ 1: 体重計
- ・ 2: 身長計
- ・ 3: ワイヤレスプリンター
- ・ 4: seca USB ワイヤレスアダプター付パソコン
- ・ 7: 乳児用体重計
- ・ 5、6 および 8 ~ 12: システム拡張のための予備

6.2 ワイヤレスグループ内の体重計の使用（メニュー）

この装置を seca ワイヤレスグループの中で使用するに必要なすべての機能は、サブメニュー「rf (無線周波数)」で説明されています。メニュー設定のための情報は、30 ページに記載されています。



ワイヤレスモジュールを オンにする (SYS)

この装置はワイヤレスモジュールをオフにして納品されます。ワイヤレスグループを設定する前にそれをオンにしてください。

1. 装置をオンにします。
2. サブメニュー「rf (無線周波数)」でメニュー項目「SYS (システム)」を選択します。
3. その選択を確定してください。
4. 設定「On (オン)」を選択します。
5. その選択を確定してください。
メニューは自動的に終了します。

545

On

ワイヤレスグループを設 定する (Lrn (記憶させ る))

ワイヤレスグループを設定するには、次の手順で行ってください。

1. 装置をオンにします。
2. メニューを呼び出します。
3. メニューで項目「rf」を選択します。
4. その選択を確定してください。
5. サブメニュー「rf」でメニュー項目「Lrn (記憶させる)」を選択します。
6. その選択を確定してください。

rf

Lrn

Id 0

Id 1

C10

C230

C360

StOP

現在設定されているワイヤレスグループ（ここではワイヤレスグループ0「Id 0」）が表示されます。

ワイヤレスグループ「0」が既に存在する場合は、矢印ボタンで他のIDを選択してください（ここではワイヤレスグループ1「Id 1」）。

7. ワイヤレスグループの選択を確定してください。
装置は、チャンネル1のチャンネル数を提案します（ここでは「C10」）。
提案されたチャンネル数を受け入れるか、あるいは矢印ボタンを使って他のチャンネル数を設定します。
8. チャンネル1に対する選択を確定してください。
装置は、チャンネル2のチャンネル数を提案します（ここでは「C230」）。
提案されたチャンネル数を受け入れるか、あるいは矢印ボタンを使って他のチャンネル数を設定します。

注意事項

二桁のチャンネル数の表記は、空きスペースなしで行います。「C230」という表示は、チャンネル「2」、チャンネル数「30」を意味しています。

9. チャンネル2に対する選択を確定します。
装置は、チャンネル3のチャンネル数を提案します（ここでは「C360」）。
提案されたチャンネル数を受け入れるか、あるいは矢印ボタンを使って他のチャンネル数を設定します。
10. チャンネル3に対する選択を確定してください。
「StOP（ストップ）」というメッセージがディスプレイに表示されます。
装置は、電波が届く範囲にある他のワイヤレス通信装置からのシグナルを待ちます。

注意事項

装置の中には、それをワイヤレスグループに統合しようとする際に、スイッチをオンにするための特別な手続きを必要とするものがあります。それぞれの装置の取扱説明書に留意してください。

11. ワイヤレスグループに統合したい装置、例えばワイヤレスプリンターをオンにしてください。
ワイヤレスプリンターが認識されると、ピーという音が聞こえます。

注意事項

ワイヤレスプリンターがワイヤレスグループに統合されたら、続いて印刷オプションを選択し（メニュー \rF\APrt）、時刻を設定します（メニュー \rF\tIME）。

12. このステップ 11. を、このワイヤレスグループに統合しようとするすべての装置に対して繰り返してください。
13. エンターボタンを押してサーチ手続きを終了します。
14. 矢印ボタンを押して、どの装置が認識されたかを表示してください（ここでは「MO 3」）。
複数の装置をワイヤレスグループに統合したときには、矢印ボタンを複数回押し、すべての装置がこの体重計によって認識されていることを確認してください。
15. エンターボタンでメニューを終了させるか、メニューが自動的に終了するまで待ちます。

NO 3

自動送信をオンにする (ASend (自動送信))

測定結果を同じワイヤレスグループに登録されている、受信可能なすべての受信装置（例えばワイヤレスプリンター、USB ワイヤレスアダプター付パソコン）に自動的に送られるように、この装置を設定することができます。

注意事項

ワイヤレスプリンターを使用するときには、印刷オプションとして「Off」が設定されていないことを確認してください（40 ページ「印刷オプション (APrt (自動印刷)) を選ぶ」を参照）。

ASEnd

On

1. 装置をオンにします。
2. サブメニュー「rF (無線周波数)」でメニュー項目「ASEnd (自動送信)」を選択し、その選択を確定します。
3. 設定「On (オン)」を選択し、その選択を確定します。

メニューは自動的に終了します。

印刷オプション (APrt (自動印刷)) を選ぶ

測定結果をそのワイヤレスグループに登録されているワイヤレスプリンターで自動的に印刷できるよう測定ステーションを設定することができます。

注意事項

この機能にアクセスできるのは、「Learn (記憶させる)」機能を通じて seca ワイヤレスプリンターがワイヤレスグループに統合された場合に限られます。

1. 装置をオンにします。
2. サブメニュー「rF (無線周波数)」でメニュー項目「APrt」を選択し、その選択を確定します。
3. 装置の組み合わせに該当する設定を選びます。
 - HI: 身長計の測定結果
 - MA: 体重計の測定結果
 - HI_MA: 身長計および体重計の測定結果
 - Off (オフ) : 自動印刷なし、体重測定中はエンターボタンを長く押し続けないと印刷しません。
4. 選択を確定してください。
メニューは自動的に終了します。

時刻を設定する (Time (時刻))

ワイヤレスプリンターが測定結果に自動で日付と時刻を追加するようにこのシステムを設定することができます。それには一度この装置で日付と時刻を設定し、ワイヤレスプリンターの内蔵時計にそのデータを送信する必要があります。

注意事項

この機能にアクセスできるのは、「Learn (記憶させる)」機能を通じて seca ワイヤレスプリンターがワイヤレスグループに統合された場合に限られます。

1. 装置をオンにします。
2. サブメニュー「rF (無線周波数)」でメニュー項目「tIME」を選択します。
3. その選択を確定してください。
現在の「年」(YEA) の設定が表示されます。
4. 正しい年数を設定してください。
5. その選択を確定してください。
6. ステップ 4. とステップ 5. を「月」(Mon)、「日」(dAy)、「時」(hour)、「分」(Min) に対して繰り返します。

7. その都度、選択を確定します。
分の設定を確定するとメニューは自動的に終了します。
設定は自動的にワイヤレスプリンターに送信されます。
ワイヤレスプリンターは、自動的にすべてのプリントアウトに日付と時刻を追加します。

注意事項

ワイヤレスプリンターのその他の操作に関しては、その取扱説明書に留意してください。

7. 衛生管理



警告！

感電

この製品は、オン / オフボタンが押されると、たとえディスプレイが消えていても、電気が流れています。製品で液体を使用する場合、感電の可能性があります。

- ▶ 衛生管理を実施する前は、必ず製品のスイッチがオフになっていることを確認してください。
- ▶ 衛生管理を実施する前は、必ず電源プラグを引き抜いてください。
- ▶ 液体が製品に入り込まないようにしてください。



注意！

製品の破損

不適切な洗浄剤および消毒剤は、製品のデリケートな表面を損傷する可能性があります。

- ▶ 必ずアクリルガラスおよびその他のデリケートな表面に適した、塩素およびアルコールを含まない消毒液を使用してください（作用物質：第四級アンモニウム化合物など）。
- ▶ アルコールやベンジンは使用しないでください。
- ▶ 必ず、デリケートな表面に適した消毒液（中性洗剤）を使用してください。適切な消毒液（中性洗剤）は、専門店で購入できます。

7.1 清掃

- ▶ 装置の表面は必要に応じて、マイルドな石鹼液で湿らせた柔らかい布で清掃してください。

7.2 消毒

1. 使用する消毒剤が、敏感な表面やアクリルガラスに適しているかどうか確認してください。
2. 消毒剤の使用説明書を参照してください。
3. 柔らかい布を消毒剤で湿らせ、その布で製品の表面を清掃してください。

消毒するタイミング	対象
皮膚が直接接触する測定の前	計量台
皮膚が直接接触した測定の後	計量台
必要に応じて	ディスプレイ フィルムキーボーデ

7.3 滅菌

装置の滅菌は許可されていません。

8. 機能点検

- ▶ 製品の使用前には必ず機能点検を行ってください。

完全な機能点検には以下が含まれます。

- ・ 機械的損傷の目視検査
- ・ 製品の調整の検査
- ・ 表示部の目視検査および機能検査
- ・ 「概観」の節で説明されている全操作部の機能検査
- ・ オプション・アクセサリーの機能検査

機能検査でエラーや異常が発見された場合は、まずはこの文書の「こんなときはどうする？」の節をたよりにそのエラーに対処してください。

注意！
人身傷害

機能検査でエラーや異常が発見され、それを「こんなときはどうする？」の節をたよりにしても解決できなかった場合、それ以降、製品の使用は許されません。

- ▶ 製品の修理は seca サービスまたは正規のサービス担当者に依頼してください。
- ▶ この文書の「メンテナンス / 再検定」の節に留意してください。

9. こんなときはどうする？

トラブル	原因 / 対処法
何かを載せても体重が表示されない。	体重計に電力が供給されていません。 - 体重計のスイッチがオンになっているか確認してください。
体重測定の前に 0.0 が表示されない。	体重計がオンになる前から何かが載せられました。 - 体重計から載っているものを降ろしてください。 - 体重計をいったんオフにして、再度オンします。
特定のセグメントが常に点灯している、またはまったく点灯しない。	該当する箇所に何らかの故障がある。 - メンテナンスサービスに連絡してください。
 が表示されている。	バッテリーパックの電圧が低下しています。 - バッテリーパックを早めに充電してください。
「bAtt」が表示される。	バッテリーパックが空です。 - バッテリーパックを充電してください。
「StOP」が表示されている。	最大計測可能限度を超えてます。 - 体重計から載っているものを降ろしてください。
「tEMP」が表示されている。	体重計の周囲の温度が高すぎる、あるいは低すぎます。 - 体重計を周囲の温度が +10 ° C ~ +40 ° C の場所に設置してください。 - 体重計が周囲の温度になじむまで約 15 分待ちます。

トラブル	原因 / 対処法
スイッチをオンにした後、初めて測定結果が転送され、二度シグナル音が聞こえた。	<p>装置が、ワイヤレス受信装置 (seca ワイヤレスプリンターまたは USB ワイヤレスアダプター搭載のパソコン) に測定結果を送信できなかつた。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 体重計がワイヤレスネットワークに組み込まれていることを確認してください。 - 受信装置の電源がオンになっていることを確認してください。 <p>受信が、近くにある高周波装置（例えば携帯電話）によって妨げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 高周波装置と、seca ワイヤレスネットワーク内の送信装置および受信装置との間の最低間隔を 1 m 空けてください。高周波装置の実際の送信電力によっては、1 m 以上の最低間隔が必要な場合もあります。詳細は、www.seca.com をご覧ください。 <p>注意事項 この障害が解消されない場合、以降の送信を試みても、再びアラーム音が鳴ることはありません。</p>
「rF」メニューに項目「SYS」しか表示されない。	ワイヤレスモジュールがオフになっています。 <ul style="list-style-type: none"> - ワイヤレスモジュールをオンにしてください (37 ページ「ワイヤレスモジュールをオンにする (SYS)」を参照)。
「rF」メニューに項目「SYS」と「Lrn」しか表示されない。	ワイヤレスモジュールがオンになっていて、ワイヤレスグループが設定されていません。 <ul style="list-style-type: none"> - ワイヤレスグループを設定してください (37 ページ「ワイヤレスグループを設定する (Lrn (記憶させる))」を参照)。
「rF」メニューに項目「APrt」と「Time」が表示されない。	ワイヤレスプリンターがワイヤレスグループの中に登録されていません。 <ul style="list-style-type: none"> - ワイヤレスグループのメニュー項目「Lrn」でワイヤレスプリンターを登録してください (37 ページ「ワイヤレスグループを設定する (Lrn (記憶させる))」を参照)。
メニューを呼び出した後、項目「rF」が表示されない。	体重計のワイヤレスモジュールが壊れています。 <ul style="list-style-type: none"> - seca サービスに連絡してください。
「Er:X:11」が表示される。	体重計に重すぎるものが載せられているか、かたよった場所に重さがかかっています。 <ul style="list-style-type: none"> - 体重計から載っているものを降ろすか、重量が均等にかかるようにしてください。 - 体重計を再スタートさせます。

トラブル	原因 / 対処法
「Er:X:12」が表示される。	体重計に重いものが載せられた状態でスイッチがオンになりました。 - 体重計から載っているものを降ろしてください。 - 体重計を再スタートさせます。
「Er:X:16」が表示される。	体重計がぐらついてゼロ値を測定できませんでした。 - 体重計を再スタートさせます。
エンターボタン（送信 / 印刷）を押すと「Er:X:71」が表示される。	データの転送ができない。ワイヤレスモジュールがオフになっています。 - ワイヤレスモジュールをオンにしてください（37ページ「ワイヤレスモジュールをオンにする（SYS）」を参照）。
エンターボタン（送信 / 印刷）を押すと「Er:X:72」が表示される。	データの転送ができない。ワイヤレスグループが設定されていない。 - ワイヤレスグループを設定してください（37ページ「ワイヤレスグループを設定する（Lrn（記憶させる））」を参照）。

10.メンテナンス / 再検定

10.1 メンテナンスおよび再検定についての情報

製品の再検定の前に、メンテナンスを実施することを推奨します。

気をつけて！

不適切なメンテナンスによる誤測定

- ▶ メンテナンスおよび修理は、必ず seca サービスまたは正規のサービス担当者にご依頼ください。
- ▶ 最寄のサービス担当者は、www.seca.com でお探しください。あるいは info@seca.co.jp にメールしてください。

国内の法的規定に基づいて再検定は有資格者に依頼して行ってください。

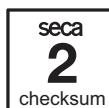
1つもしくは複数の安全標に抵触しているとき、もしくは度量衡メーター内容が有効な度量衡メーター標に一致していない場合には、その都度、再検定が必要になります。安全標に傷が付いている場合、seca サービスに直にご連絡ください。

10.2 度量衡メーター内容を検証する

この seca の体重計は検定を受けています。検定は、資格を有する機関の手によってのみ実施されます。これを確実に行うために、この体重計は度量衡メーターを備えています。メーターは検定技術関連のデータの変更をすべて記録します。

この体重計が規定通りの検定を受けているかを確認したいときには、次のように行ってください。

1. 必要があれば体重計をオフにします。
2. 任意のボタンを押し続け、体重計をスタートさせます。
3. 提示された度量衡メーター内容を度量衡メーター標に登録された数値と比較します。



度量衡の検定が有効であるためには、両方の数値が一致している必要があります。標識とメーターの数値が一致していない場合には、再検定を行ってください。サービス担当者または seca サービスにお問い合わせください。再検定が実施された場合、新しい、

更新された度量衡メーター標が度量衡メーター状態の標示に使用されます。この標識は、再検定を実施する有資格者によって追加スタンプによって固定されます。この度量衡メーター標は、seca サービスから入手できます。

11.技術データ

11.1 一般的な技術データ

一般的な技術データ seca 665	
外形寸法 体重計 ・奥行 ・幅 ・高さ	1150 mm 1102 mm 912 mm
外形寸法 計量台 ・奥行 ・幅 ・高さ	930 mm 760 mm 55 mm
重量量	約 32 kg
環境条件、作動時 ・気温 ・気圧 ・湿度	+10 °C～+40 °C (50 °F～104 °F) 700～1060 hPa 30%～80% で結露しないこと
環境条件、保管時 ・気温 ・気圧 ・湿度	-10 °C～+65 °C (14 °F～149 °F) 700～1060 hPa 0 %～95 % で結露しないこと
環境条件、輸送時 ・気温 ・気圧 ・湿度	-10 °C～+65 °C (14 °F～149 °F) 700～1060 hPa 0 %～95 % で結露しないこと
文字表示サイズ	25 mm
電源供給	バッテリーパック AC アダプター
消費電流 ・ワイヤレスモジュールがオフの場合 ・ワイヤレスモジュールがオンの場合	約 25 mA 約 42 mA
充電池で運用したときの最長運用時間 ・ワイヤレスモジュールがオフの場合 ・ワイヤレスモジュールがオンの場合	約 2,400 回の体重測定 AC アダプターを使用を推奨

一般的な技術データ seca 665	
指令 93/42/EEC に準拠した医療機器 (ヨーロッパ内のみ)	クラス I、測定機能付き
EN 60601-1 ・保護絶縁された装置、保護クラス II ・電子医療機器（タイプ B）	<input checked="" type="checkbox"/>
保護タイプ	IP20
運用タイプ	継続運用
無線転送 ・周波数帯 ・送信出力 ・適用規格	2.433 GHz ~ 2.480 GHz < 10 mW EN 300 328 EN 301 489-1 EN 301 489-17

11.2 重量測定データ

重量測定データ seca 665	
指令 22014/31/EU に準拠した検定（ヨーロッパ内のみ）	クラス III
精度クラス（日本）	III
型式認定番号（日本）	D1411 号
最大計測可能限度 ・重量測定領域 1 ・重量測定領域 2	200 kg 300 kg
最小計測可能限度 ・重量測定領域 1 ・重量測定領域 2	2.0 kg 4.0 kg
目盛りの粗さ ・重量測定領域 1 ・重量測定領域 2	100 g 200 g
風袋の範囲	300 kg
初回検定時の精度 ・重量測定領域 1、～ 50 kg ・重量測定領域 1、50 kg ~ 200 kg ・重量測定領域 2、～ 100 kg ・重量測定領域 2、100 kg ~ 300 kg	±50 g ±100 g ±100 g ±200 g

12. オプション・アクセサリー

seca 360° wireless 装置	品目番号
身長計 • seca 274 • seca 264	国ごとに異なります 国ごとに異なります
ワイヤレスプリンター • seca 360° wireless printer 465 • seca 360° wireless printer advanced 466	国ごとに異なります 国ごとに異なります
パソコン用ソフトウェア • seca analytics 115	用途別ライセンスパッケージ
USB ワイヤレスアダプター • seca 360° wireless USB adapter 456	456-00-00-009

13. 交換部品

交換部品	品目番号
ユーロプラグ付プラグ AC アダプター 230 V~/50 Hz / 12 V= / 150 mA	68-32-10-252
アダプター付スイッチモード AC アダプター 100 ~ 240 V~/50 ~ 60 Hz / 12 V= / 0.5 A	68-32-10-265
バッテリーパック	68-22-12-721

14. 廃棄処分について

14.1 装置



この製品は家庭ゴミで廃棄しないでください。この製品は、電子機器廃棄物として適切に廃棄してください。各国の規定を遵守してください。その他の情報は、こちらにお問い合わせください。

info@seca.co.jp

14.2 乾電池と充電電池



使用済みの乾電池および充電電池は、それが有害物質を含んでいるか否かに関わらず、家庭ゴミに捨てないでください。使用者には消費者として、乾電池や充電電池を地域の収集場所や販売業者の収集場所

を通じて廃棄する法律で定められた義務があります。
乾電池や充電電池は、必ず完全に放電した状態で引き渡してください。

15.保証

資材や製造時の不具合が原因とされる欠陥については、納品日より1年間の保証期間が適用されます。ただし、電池（充電電池）、ケーブル、ACアダプター、といった可動部品はすべて保証対象外となります。保証の対象となる不具合は、ご購入時の領収書を提示していただければ無償で修理いたします。保証書が保証している範囲以外は保証の対象にはなりません。本製品がお客様のご住所とは別の場所にある場合、往復の運送費はお客様のご負担になります。運搬中の損害で保証を請求することができるのは、運搬に純正の梱包材一式を使用し、その梱包内で本製品が発送時と同じ梱包状態で保護され、固定されていた場合のみです。そのため、すべての梱包材を保管しておいてください。

seca 社テクニカルスタッフでない人が本製品を開けた場合、保証は失効します。

国外にお住まいのお客様につきましては、保証をご請求される場合、各国の販売店へ直接お問い合わせいただきますようお願いいたします。

seca 株式会社

〒 262-0011

千葉県千葉市花見川区三角町 94-2

電話 : 043-216-0850 (代表)

ファックス : 043-216-0851

seca corporation

94-2 Sankakucho, Hanamigawaku

Chiba City, Chiba 262-0011, Japan

Phone: +81 (0) 43-216-0850

Fax: +81 (0) 43-216-0851

Medical Measuring Systems and Scales since 1840

seca gmbh & co. kg
Hammer Steindamm 3–25
22089 Hamburg · Germany
Telephone +49 40 20 00 00 0
Fax +49 40 20 00 00 50
info@seca.com

seca operates worldwide with headquarters
in Germany and branches in:

seca france

seca united kingdom

seca north america

seca schweiz

seca zhong guo

seca nihon

seca mexico

seca austria

seca polska

seca middle east

seca brasil

seca suomi

seca américa latina

and with exclusive partners in
more than 110 countries.

All contact data under www.seca.com